

# 看護分野で学术交流

県立大

## ネパールの大学と協定



護分野などで連携を進める。

県立大で調印式があり、辻英明学長が「トリバン大の医学部と、県立大の保健福祉学部は共通の専門性がある。双方の教育研究に大きな効果がある」と述べ、クナニディ・ニャウパネ学長と協定書に署名した。ニャウパネ学長は「教育の充実によって国の発展につなげたい」とあいさつした。

県立大(総社市窪木)は16日、ネパール最大のトリバン大と学术交流協定を結んだ。看

12月、ネパールに支部を持つ国際医療ボラン

学术交流の協定書を持って握手するニャウパネ学長(左)と辻学長

ティアAMD A(本部・岡山市)の仲介で、トリバン大教員を非常勤講師に迎えて講義を実施するなど交流を

開始。14年12月、ネパールの両大学長が学术交流を促進することで一致し、協定につながった。

「アジアでは看護教育の充実が課題」(AMD A)となっており、両大学は教員と学生  
の相互派遣、共同研究などを進めていく方針。  
トリバン大は1959年、ネパール初の大学として首都カトマンズに開設。薬学や法律の10学部がある。(民直弘)